

ど、5つのビジョンの総合的な推進が功績として認められ、今回の優良町村としての表彰になったものと思っています。

◇平成20年度各事業の進捗状況

今年度予定していたソフト事業については、エコツーリズム推進事業のガイド養成事業が終了するなど、各種事業も順調に進み実績報告書の作成など、清算へ向けた事務をしているところです。

次に、ハード事業の進捗状況ですが、消防車購入事業では、町民の安心と安全確保のため、2台購入・配置し、消防力の強化を図りました。なお、消防自動車の配備は、今年度事業をもって全分団への配置が完了したことを報告します。

林業関係では、主伐収入も予定していた3,800万円程の収入を確保することができました。また、林道の工事や作業道の開設事業・造林事業等はすべて完成しており、県営の林道米代線も今年度分の工事は完了し、4月からは旧峰浜村から素波里まで、全線の通行が可能となる見込です。

次に、素波里に計画していたグラウンドゴルフ場の整備ですが、建設工事については、期限内に完成することができ、愛好者により試験的に使用してみたところ大変好評を得ており、来年度の一般客の利用を期待しています。

真名子地区の清流荘ですが、当町で進めているツーリズム事業に供するために改築工事を進めていましたが、予定通り完成し、今年度は180名程の利用がありました。利用者から大変好評を得てお

り、今後のツーリズム事業の推進に意を強くしたところです。

最後に、公共下水道関係事業では、今年度矢坂地区から粕毛入口まで管渠工事に着手していましたが、工事は順調に進み完了しています。また、処理場の2系統目の水槽増設工事についても今年度の工事は完了し、平成22年度の供用開始の準備が整ったところです。

◇国の政策に伴う繰越事業

国の第1次補正として打ち出され、12月定例会において補正した『地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金』事業ですが、当町では交付金1,269万5千円を限度額とし、中通以北の『難視聴地デジタル統合アンテナ設備整備工事』と『藤里小学校校舎耐震診断事業』に充当し、地域活性化と安心実現対策に努めることとしています。

次に、第2次補正関連ですが、現在の景気後退下での生活者の不安にきめ細かく対処するため、家計への緊急支援として『定額給付金』を給付するため、本定例会において定額給付金事業費の本体分を補正し、給付するものです。

なお、当町では支給される定額給付金を藤里町内で使用していただくために、商工会と連携して1万円に対して1千円のプレミアムを付けた『藤里町お買い得商品券』を発行し、町内での消費拡大につなげたいと考えています。付加部分1千円の財源は町単独予算となりますが、商工総務費には助成金618万3千円を補正計上し、繰越明許費としています。

また、地域活性化等に資するきめ細かなインフラ整備などを進めるための『地域活性化・生活対策臨時交付金事業』について、当町には、1億3,895万9千円を限度として交付されますが、本来平成21年度の当初予算に計上して実施すべき事業の中から、前倒して充当することにしたため、新年度予算からはこの分が削除されました。

充当事業は、大沢地区集会所の整備や町道の舗装・防護柵設置工事のほか、冷蔵設備を備え、農家からの野菜等の生産物を安定的に供給するため、地域農産物供給施設の整備、中学校の耐震診断に係る業務委託料ですが、予算については、本定例会において補正し、全事業とも繰越事業として21年度当初予算と併せて実施したいと考えています。

国では21年度予算において、『地域雇用創出推進費』として、当町の場合年間4,900万円が2年間に渡り交付税措置される予定です。交付された推進費は、スキー場の運営費のほか民宿等への補助金や鮎のヤナ設置補助金・観光ガイド育成費用などに充てるべく、当初予算に計上していますが、国からは用途を明確にするため一旦基金に積み、これを取り崩して事業に充当することを求められており、本定例会において関連した基金条例の制定についても提案しています。

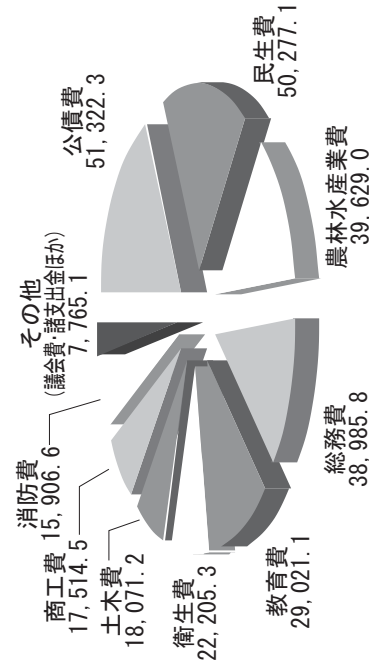
一般会計当初予算

◇◇性質別歳出◇◇

人件費 選挙執行や統計調査に伴うもの、

歳出のグラフ (左…目的別、右…性質別)

目的別



性質別

